

町田市バイオエネルギーセンター火災の経過報告について

2022年2月に発生した町田市バイオエネルギーセンター不燃・粗大ごみピットの火災について、2022年3月の行政報告以降の状況等を報告いたします。

1 不燃・粗大ごみ処理施設の状況

クレーン設備のほか、照明、放送器具等（以下、「設備等」）の修理や交換が必要な状況です。当初、5月中に設備等の復旧工事を開始する予定でしたが、部品の調達において、コロナ禍による世界的な資機材の不足、生産の停滞等により、納期が未定である状況が判明し現在調整を進めております。不燃・粗大ごみクレーンにつきましては、3月に手動で操作が出来る状態まで修理し、3月14日に消防署の原因調査が終了した後、使用を再開しました。

現在、10月までを目処に建築躯体等の詳細調査を実施し、全設備及び建屋の恒久的な復旧工事に向けた調整を行っています。

2 多摩ニュータウン環境組合・八王子市への応援処理状況

- ・多摩ニュータウン環境組合（多摩清掃工場）
処理量 356.19トン（4月26日に終了）
- ・八王子市（戸吹クリーンセンター）
処理量 90.61トン（3月11日に終了）

クレーンを手動で操作出来るようになり、町田市バイオエネルギーセンター場内で処理できる目処がたったことから、応援処理を終了しました。

3 市民への情報提供、対応等

発災当日（2月21日）から町田市公式ホームページで火災の発生状況等をお知らせし、その後の経過についても、ホームページや広報、施設見学の説明の中で公表してまいりました。今後ごみの適正排出を進めるため、継続して情報を発信してまいります。市民の皆様に向けた主なものは次のとおりです。

3月22日 施設見学再開

5月12日 10時から（25分間）J:COMテレビ中継（生放送）

5月15日 広報まちだ掲載。タイトル「そのごみ、発火しています！」

【掲載内容】町田市バイオエネルギーセンターの火災報告、近隣工場による応援処理、ごみの適正排出のお願い 等。

4 再発防止策

- ・運転管理上の対策

今回の火災では、ピット内のごみの深い位置で発火したため、消火が困難な状況になったと考えられており、対策として、不燃・粗大ごみピットの貯留量を運転上支障のない範囲で少なく維持することでピット内のごみの発火を予防します。また、施設内手選別についても、引き続き強化しています。

- ・市民への啓発

施設見学・広報等を活用し、情報を積極的に提供することで、市民の皆様にごみの適正排出の案内を進めてまいります。